

**製品名: WHSC2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM83065**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	57.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	WHSC2
別名	NELFA; NELF-A; P/OKcl.15
遺伝子 ID	7469.0
SwissProt ID	Q9H3P2
免疫原	大腸菌で発現したヒト WHSC2 (AA: 280-511) の精製された組み換え断片。

**背景**

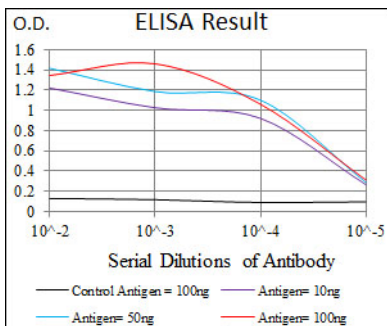
この遺伝子は、成体組織よりも胎児組織で高く、普遍的に発現しています。マウスタンパク質と 93%の配列同一性を持つタンパク質をコードしています。ウルフ・ヒルシュホーン症候群 (WHS) は、4 番染色体遠位短腕のヘミ接合性欠失に関連する奇形症候群で

す。この遺伝子は、165 kb の WHS 重要領域にマッピングされており、WHS またはピット・ロジャース・ダンクス症候群の表現型に役割を果たしている可能性があります。コードされているタンパク質は、HLA-A2 拘束性および腫瘍特異的細胞傷害性 T リンパ球と反応できることがわかっており、多数の癌患者に対する特異的免疫療法での使用のターゲットを示唆しています。このタンパク質は、RNA ポリメラーゼ II 転写伸長の調節に関与する NELF (負の伸長因子) タンパク質複合体のメンバーであることも示されています。

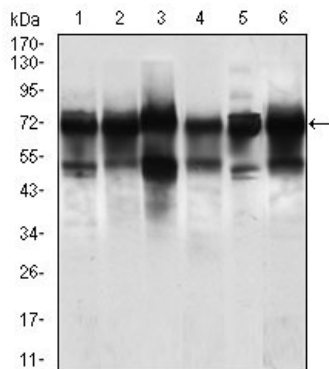
## 研究分野

-

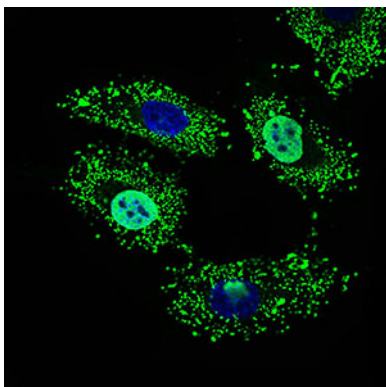
## 画像データ



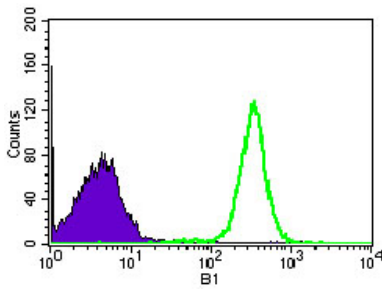
赤: コントロール抗原 (100ng)、紫: 抗原 (10ng)、緑: 抗原 (50ng)、青: 抗原 (100ng)



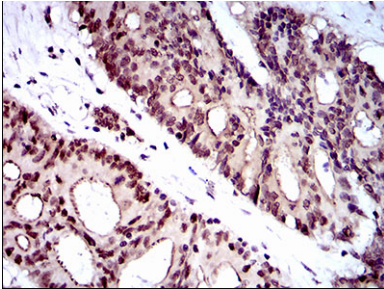
Jurkat(1)、HeLa(2)、HEK293(3)、4549(51SPC-A-1(6)細胞溶解物、およびラット脳 4) 組織溶解物に対する wsC2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



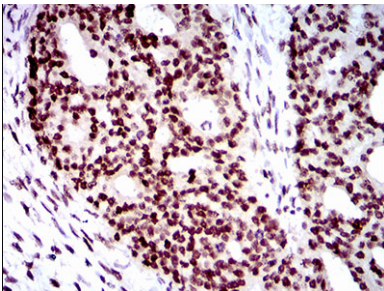
WHSC2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DAA05 蛍光 DNA 染色。



WHSC2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した HEK293 細胞のフローサイトメトリー分析。



WHSC2 マウス mAb と DAB 染色を用いた oaraffn 包埋大腸癌組織の免疫組織化学分析



WHSC2 マウス mAb と DAB 染色を用いたパラフィン包埋卵巣癌組織の免疫組織化学分析